



養老郡養老町 PTA連合会たより

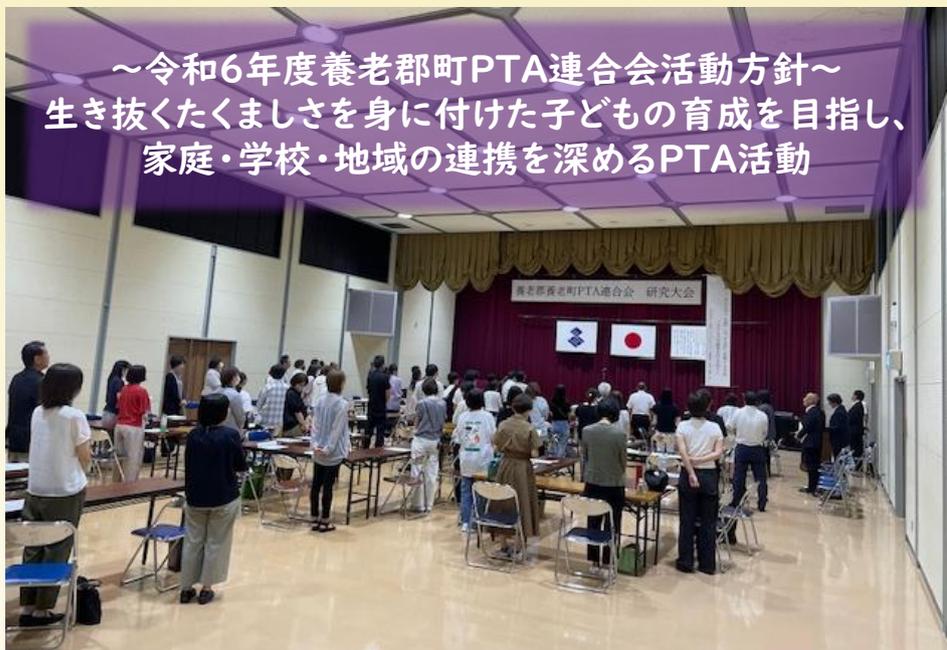
創刊号

令和6年7月19日

発行：養老町教育委員会事務局
生涯学習課

編集：郡広報担当・事務局
総児童数1,560名 7月3日現在

令和6年度 養老郡養老町PTA連合会 研究大会 中央公民館 中ホールにて開催されました！



～令和6年度養老郡町PTA連合会活動方針～
生き抜くたくましさを身に付けた子どもの育成を目指し、
家庭・学校・地域の連携を深めるPTA活動

広幡小PTAの皆さんより、取組が紹介されました。児童数、PTA会員数が減少する中で「**広幡はひとつ**」を合言葉にPTA・学校・地域がひとつになることで、多様な活動ができることなど、「つながり」の大切さについてお話いただきました。



令和6年6月22日 13:30から、「養老郡養老町PTA連合会研究大会」が中央公民館中ホールにて開催されました。今回は、任意参加の形をとり、約80名が参加し、研修することができました。

広幡小PTAによる「PTAと学校、地域がつながる実践」の発表、毛利理恵氏（NPO法人日本ウーマンプロジェクト理事長）による「子どもの自信とやる気を育てる方法」についての講話やグループでの意見交流を通して、PTAの活動や子育てについて考えることができた研究大会になりました。

養老郡町PTA連合会長 山中 勝史（東部中PTA）

今年度も養老町PTA連合会の活動方針は、県の方針と重点を踏まえ、「生き抜くたくましさを身に付けた子どもの育成を目指し、家庭・学校・地域の連携を深めるPTA活動」とさせていただいております。将来、家庭・地域・職場など様々な場所で豊かな人間関係を築いていくための力を身につけた子どもたちを育てたいという共通の願いをもっております。今回の研究大会も開催にあたり、対話を通して、会場や条件、募集や告知方法など見直し、改善を図っております。子どもたちの人数が減少し、PTAの活動についても内容を吟味し、検証していくことが大切かと考えます。今後も、各校のPTA活動をバックアップしていけるよう進めてまいりますので、みなさまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

養老郡養老町PTA連合会 表彰(感謝状贈呈)

*順不同

- 徳本 弘基 さん(養老小PTA)
- 西脇 友和 さん(笠郷小PTA)
- 西尾 朋子 さん(養北小PTA)
- 長澤 和俊 さん(日吉小PTA)
- 杉野 真平 さん(東部中PTA)
- 近澤 豊 さん(東部中PTA)

お世話になりました。ありがとうございました!

広幡小PTA実践発表

様々な行事に参加し、「お互いの顔が見える化」することで、「ひとつ」になって活動できていることが素晴らしかったです。児童数やPTA会員数が減少し、活動が変化する中でも、多様な活動ができる工夫がされていました。

また、これからの活動について、PTAだけでなく、学校や地域と共に前に進んでいこうとする気持ちが感じられる実践でした。



広幡がひとつになって活動する様子について具体的に分かりやすく発表いただきました!

毛利理恵氏による「子育て」に関する研修

講演では、「子育て」について毛利さん自身の経験も踏まえてお話いただきました。講演では、「自分の子どものよいところ」を書き出し、グループ内で交流して子どものよさについて再確認できました。さらに、自分の子どもを数値化して確認した後、理想としている子どもの姿にどれだけ近づけているか満足度を点数化することで、「自分の子どもに対してマイナス点が必要なのか」これまでの子どもとの関わり方を思い浮かべながら、熱心に聞き入っていました。

毛利さんとのやりとりから「子どものできることや良いところを見つける習慣をつけること」、「親の挑戦する姿を子どもに見せること」など「これまで」と「これから」の子育てについて考えることができ、大変有意義な時間となりました。



親子のコミュニケーションが子どもが大人になったときのコミュニケーションになる



研究大会アンケート集計結果

1. 実践発表について感想をお聞かせください。(抜粋)

*回収結果より

小回りのきくやり方で地域全体で進めている印象を受けました。今後どこも小規模になっていくので、とても参考になりました。

発表を聞いて、自分の学校に生かせそうかどうか、自校のPTAで話し合う時間があるのもいいと思います。

PTAや学校、地域の方とでひとつになり、一緒に子どもを育てていく環境はとても素敵だなと思いました。

地域の方と密接に連携している様子が分かりました。小規模校の課題と展望をもう少し詳しく説明していただけたら、共有できたと思いました。

地域とのつながりを大事にし、親子で一生懸命取り組んでいる様子がすごいと思いました。

学校だけの行事ではなく、地域ぐるみでやることで、高齢の方には健康、子どもたちには優しさが学べていることが、とても良く、勉強になりました。

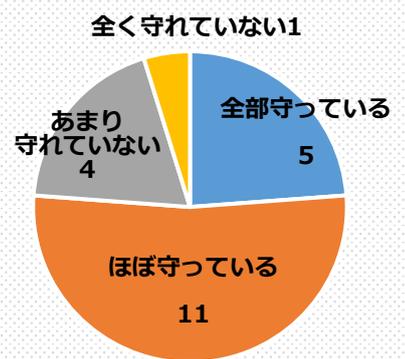
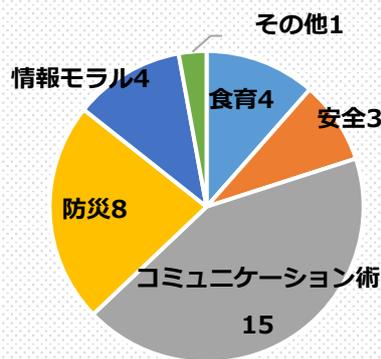
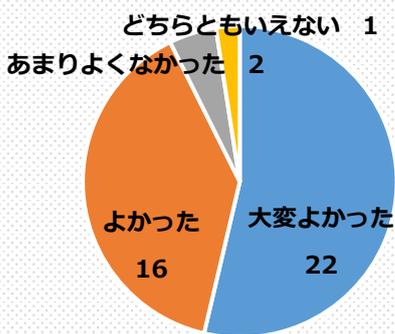
ほかの学校の活動を知れる機会があまりないので、知ることができて今後のPTA活動の参考になりました。

「広幡はひとつ」を合言葉に学校・家庭・地域がともに力を合わせて子どもたちのために活動されていることがよくわかりました。

2. 毛利さんの講演についてお聞かせください。

3. 今後聴いてみたい講演テーマをお聞かせください。

4. 「養老町情報モラルスマイル宣言」を守っていますか。



5. その他、研究大会に関する感想や要望について(抜粋)

- ・ 今回の形式は全員参加型(双方のコミュニケーション)でとても良かったと思います。
- ・ P側の意見とT側の意見をぶつける(ぶつけ合う)場を作ってもらいたいです。
- ・ 会場は、中ホールで十分。保護者がたくさん来た感じがします。オンライン配信の是非を考えるとよいかもしれません。画面オンで顔を見ながらやればよいと思います。
- ・ 内容は大変良かったです。もう少し、終了時刻が早いとよいかと思います。遅くても2時間、15時30分には終了していただきたいです。

「子育て」に関して

子どもを育てるための大切なことが、ご自身の経験から語られ、説得力がありました。

PTAも子育ても、気づきをたくさん得ることが出来ました。心が浄化された気持ちになりました。

子どもが男の子であるとか、女の子であるかが分かれた時に、対処法は変化すると思われれます。「ヒントを出しているんだから、後は自分たちで考えてみてください…。」的にしか感じませんでした。「考えることは大事ですが…もう少し…。」こんな意見が出てきても全く不思議ではないと思います。これがこうでこうなんだ、なんて無いことは自分自身で分かった気がします。

自分の理想を子に押し付けることが正しいわけではないんだと考えさせられました。

どんなあなたでも大切な存在、存在しているだけで価値があるんだよ、という姿勢が大切だと教えていただきました。できない所より、できている現状に目を向け、認めていくことが大切だと再認識しました。

子ども達が幸せに生き抜く力をつけるためには、まず私たち親が自分自身を見つめなおして、そして子ども達をしっかりと見て認めてあげることが大切だとわかりました。

一方的な講演ではなく、ディスカッションを取り入れての時間がありよかったです。話題も保護者として、教員として両面から考えさせられる内容であり、楽しく時間が経ちました。ありがとうございました。

令和5年度「家族の絆 愛の詩」PTA賞表彰

【最優秀賞】

本田 幸恵さん（養老小PTA）

【優秀賞】

杉野 久美さん（池辺小PTA）

中村 智子さん（養老小PTA）

【佳作】

久保山 明恵さん（日吉小PTA）

高木 千晶さん（日吉小PTA）

安部 治枝さん（笠郷小PTA）

赤塚 まゆらさん（養老小PTA）

おめでとうございます！

今年度もたくさんの応募ありがとうございました。

来年度もご応募お待ちしております！

～養老郡PTA連合研究大会を終えて～

養老郡町PTA連合会子育て代表
柳沢 陽子（東部中PTA）

今年度は、意見交流ができる形での研究大会開催となりました。広幡小学校の活動報告では、子どもの数が減少していく中での活動の在り方についてヒントとなる内容がいくつかあったかと思います。また、講演では、『子どもの自信とやる気を育てる方法』ということで、私たちの困り感に寄り添った講演とグループでの意見交流になりました。親自身の考え方の大切さを学ぶことができ、これからの子育ての糧となったのではないのでしょうか。最後になりましたが、ご参加いただいた皆さま、本大会を支えていただきました本部の皆さまに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。